

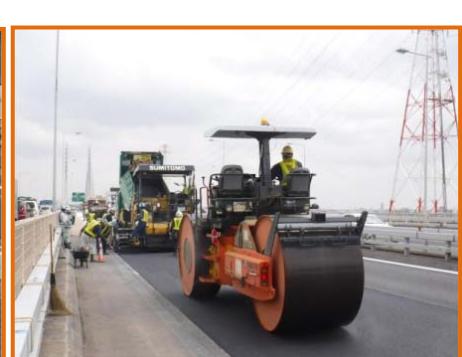
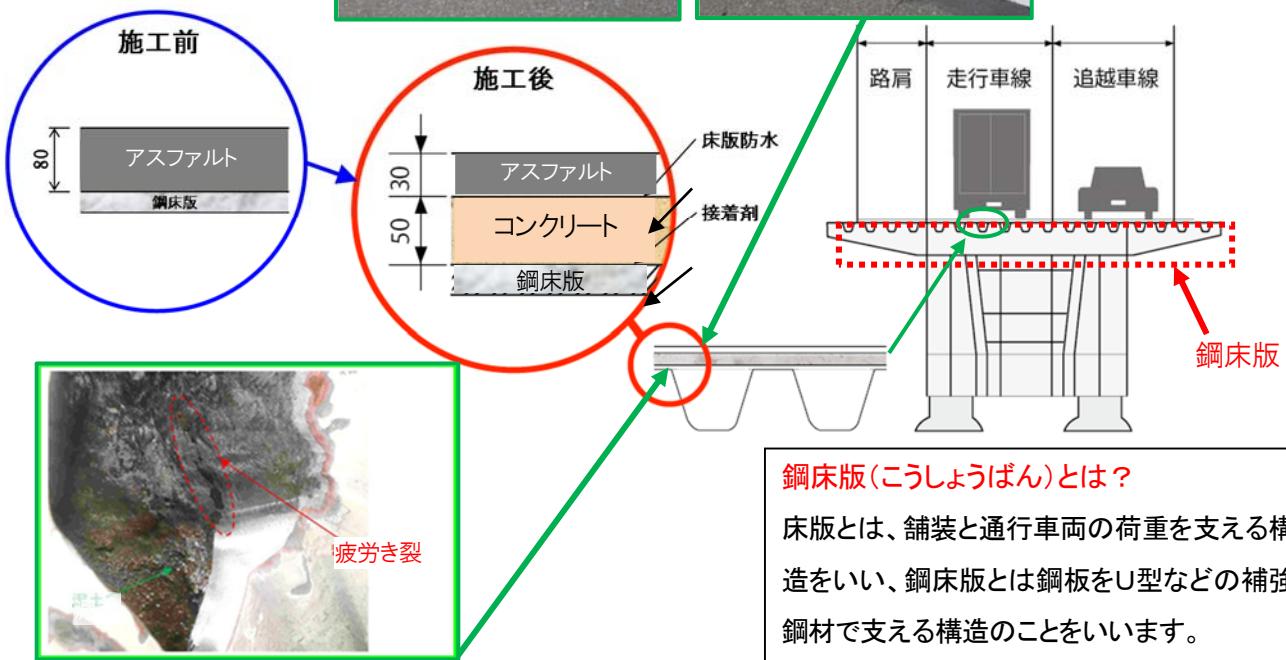
◆工事概要◆

別紙1

外環道の橋りょう区間では、一部の区間で鋼床版(こうじょうばん:下図参照)を使用しています。

外環道は、平成4年の開通から25年以上経過しており、この間における、車両の大型化による輪荷重の増加により、鋼床版の疲労き裂が点検により発見されました。鋼床版に発生した疲労き裂は、放置すると鋼床版を貫通し、最悪の場合は路面の陥没をまねき、安全性を損なう恐れがあります。

そこで、疲労き裂が進行する前にき裂の補修を行うとともに、アスファルト舗装の下部を剛性の高いコンクリート(SFRC:鋼纖維補強コンクリート)に置き換えることで、橋りょうの長寿命化を図る工事を行うものです。



※写真は、H29年の春に同様の工事を実施した状況です。